

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

奈良の文化や伝統などのよさを知り、地域に誇りをもつ子どもを育てる。
学習意欲や科学的な思考を育て、自ら考え、正しい判断ができる子どもを育てる。
どのような環境でも挫けない強い意志と体力、豊かな心をもった子どもを育てる。
親子、家族で楽しめるイベントを行い、ともに感動を分かち合える機会をつくる。
幼児児童生徒が地域で協力し、小さな地域単位でボランティア活動などを行い、
よりよい人間関係づくりを進める。

今年度の取組紹介

・【平城高校生と遊ぼう！】1月19日（日）に北部会館で実施した。本年度で7回目を迎えたイベントは、幼児から高齢者まで700人以上の参加がありました。

平城高校をはじめ、平城東中学校・こども園（朱雀、左京）・各小学校（朱雀、佐保台、左京）の発表もあり、イベントは大いに盛り上がりました。園児、児童、生徒が参加し普段は関わりの薄い異年齢の地域の子どもたちが交流することにより、育みの精神を培うとともに、自分の新たな一面を発見できる機会となり、地域の交流もでき、子から子へ残していきたい地域のイベントとなりました。



・【歴史ウォーク】11月3日（祝）に、左京小学校を出発し大極殿、遺構展示館、東院庭園を見学し朱雀門をめざしました。当日はNPOなら・観光ボランティアガイド朱雀の方々に案内していただき、奈良の歴史・文化にふれることができました。参加者は約95人にのぼり、郷土への愛着が育まれました。

【図書室開放】 図書室ボランティア活動を毎日行うことにより、利用する児童・生徒が増えました。

また、地域の利用者も多く本に親しむ機会が増えました。



今年度のまとめ

地域教育協議会主催のイベントやボランティア活動に参加し協力してくださる地域の方も増えてきました。今後にもつながることであり地域の絆が出来てきていると感じます。

来年度に向けて

来年度も同様の事業を予定しているが、【平城高校生と遊ぼう！】は高校再編等があり、今後はどのような運営をしていくのか等を話し合い、今まで地域と築き上げた取組をどのように継承していくか検討していく必要があります。また、新しい地域コーディネーターや地域ボランティアの方々の発掘が急務です。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動を子どもたちに！

今年度の取組紹介

【本物に学ぶ 講師招聘事業】では、ICT 教育、性教育講演会、マナー講習会、面接体験、お箏の演奏鑑賞及び体験等の講師の方を招いて本物に触れることができました。



【地域に開かれた文化発表会・体育大会】では、地域と学校の取組を地域に発信する機会としました。体育館での各学年のステージ発表では、1 年、2 年は合唱を行い、3 年は沖縄を舞台とした学年劇を発表しました。各教室では科学部の実験や文芸部の作品展示や学年・教科の展示発表を行いました。体育大会では3年生をリーダーとして生徒全員が一致団結をして行うことが出来ました。

【地域防災訓練・クリーン作戦】では各地区の防災訓練に参加しました。災害が起こったときに自分の身を守りながら地域の一員として出来ることは何なのか考える機会をいただくなど貴重な体験が出来ました。また、地域ボランティアの方と校区内のゴミ集め・清掃活動等のクリーン作戦を行いました。



今年度のまとめ

今年度も地域の活動に参加することによって、地域の一員としての自覚やふれあいを感じることで、平城東中学校運営委員会の取り組みの目標である「知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動を子どもたちに」の実現に向けた取り組みを工夫しながら行うことが出来ました。

また、昨年度より参加した地域の防災訓練は、地域の一員としての自覚や誇りがもてるための良い経験でした。地域の方にも高評価をいただき、学校と地域の絆につながると思われます。

来年度に向けて

地域の活動に参加する生徒の数も増えてきており、地域に学ぶ活動も定着しつつあります。しかし、まだまだ積極性に欠けるところもあり課題は多いが、広報や参加しやすい環境を作っていく必要性があります。

めざす子ども像

自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域の方々に支えられていることを実感しながら、児童が主体的に学ぶことができるための環境整備と取組の充実。

今年度の取組紹介

(1) 学習支援事業「楽しい理科実験教室」

「楽しい理科実験教室」では、平城ニュータウン楽しい理科実験研究会のみなさんの協力のもと、毎年楽しい実験(今年はトラス構造やふりこ等)を通して、理科のおもしろさを伝えています。

(2) 学習支援事業「おはなしの会」

図書環境整備事業「図書ボランティア」

朱雀小学校の図書室は、図書ボランティアのみなさんが作成した季節の掲示物でいっぱいです。すてきな環境や低学年を中心にした朱雀おはなしの会のみなさんの読み聞かせ活動により、読書好きな子どもたちを育てています。

(3) 学習支援事業「収穫祭」(2年)

収穫した「さつまいも」を使って、味噌汁を作りました。地域の方々の協力のもと、安全に楽しく取組を進めました。



今年度のまとめ

今年度の事業は、継続事業や新たな事業への参画と、臨機応変に対応いただき、子どもたちの学習活動や学校生活が地域の方々に支えられて進めることができました。

今年度は、上記した理科実験やおはなしの会、近畿大学農学部からの出前授業、収穫祭等、学習支援事業で、子どもたちが楽しく安全に学んだり、学習に興味を持たせたりといった内容がより充実したように思います。

また、環境整備事業においても、環境ボランティアや図書ボランティアのみなさんの安全かつ整頓された環境づくりにより、子どもたちに学ぶ条件を整えてくださり、感謝しております。

来年度に向けて

新たな教育が増える昨今、地域の方々の智慧や技術、マンパワーのご協力をいただき子どもたちの学びがより深められるよう、また交流の中でさらに子どもたちが地域の中で生活していることを意識できるよう、これまでの事業・取組をさらに充実し、新たな取組の検討も進めていきたいです。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたり、子どもたちが感動するような体験活動を通した魅力あふれる取り組みの継続と地域人材の活用・発掘

今年度の取組紹介

○読書活動推進事業について

7月4日（木）に児童や教員、地域の方が参加して選書会を実施しました。児童は自分たちが読みたい本を選び、教員や地域の方は児童に読んでもらいたい本や読み聞かせに適した本を選びました。今年度もたくさん本を購入してもらいました。例年、新書については教員が棚卸までの作業を担っており、放課後や長期休業中などに集中してするため、実際児童の手に届くまで時間がかかっておりました。そこで、今年度は新たに図書ボランティアを募集して増員し、



図書ボランティアの方に棚卸の作業をしていただきました。おかげさまで、児童の手に早く新書が届き、児童は大喜びで読書に対する興味・関心が高まったように感じます。また、通常の図書委員会の活動の補助や図書室の環境整備など、多岐にわたり子どもとともに活動していただき大変助かりました。

今年度のまとめ

学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長の支援にあたり、子どもたちは体験活動を通して多くの事を学ぶことができました。さらに地域とのふれあいを支援し、地域の人材を活用しながら連携を深めました。この取組により、自分たちが住む地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育っているものと思われまます。様々な学習を通して、また、ふれあい学習や体験学習で、人との関わりや命の大切さを学びました。

来年度に向けて

様々な取組は長期的な視野に立ち、事業を継続的に行うことにより大きな成果が得られると考えます。来年度も活動内容の工夫・精選を検討し、本事業を継続していきたいと考えております。

具体的には、佐保台小学校としての学校支援ボランティアの仕組みづくりを行い、教職員とともに、教育活動に参画していただき、「チームとしての学校」を創り上げていきたいです。

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する児童・生徒の育成

取組目標

地域との繋がりを意識し、豊かな感性と知識・技術を身につける。

今年度の取組紹介

「名人さん大会」

第2学年を対象に、地域の方々が企画・運営する取組として、地域の方々と共に「名人さん大会」を行いました。

【こま回しグループ】

・昔遊びの代表的な遊びの一つとしてあげられる「こま回しグループ」では、ただ単にこまを回すだけではなく、手に乗せたりひもを伝わしたりして技術を学びました。

【囲碁グループ】

・初めて囲碁に触る児童に対して丁寧にご教授下さり、地域の方々と対戦をすることが出来るようになると白熱した時間を過ごすことができました。

【紙ルービックグループ】

・正方形の画用紙を張り合わせて作成するルービックでは自分が思うような色の組み合わせになるように果敢に挑戦する児童の姿がみられました。

【手芸グループ】

・ひもと布を使ってネックレスを作成した。自分自身を飾る、ネックレスだけに布の形や大きさにこだわる児童が多かったです。



今年度のまとめ

- ・ 学校での授業を拡充できる活動や、教職員だけでは取り組めない内容の活動を、地域の方を学校に招聘したり、地域へ出て行って行ったりして実施することができました。
- ・ 地域の大人の方々と接することによって、子どもたちのコミュニケーション能力、規範意識、防犯意識が高まりました。
- ・ コーディネーターや運営委員をはじめ、多くの保護者、地域のボランティア、社会福祉協議会、民生児童委員会等、様々な方々や団体の協力を得ることができました。

来年度に向けて

来年度も、基本的に今年度の事業の継続と充実を目指して取り組んでいきたいです。加えて、新しい事業や取組の企画について、地域の方々の声を生かしながら進めていきたいです。また、事業への参画や協力者が増えるように広報活動や啓発活動を活発に行いたいです。

めざす子ども像

自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

地域とのつながりを大切にし、地域の方々やコーディネーターとの連携を図り、子どもの心動かせるような、感動体験ができるようにする。

今年度の取組紹介

〈体操教室〉

子どもたちの体力の向上、体幹を意識した運動能力の向上を目的に講師の先生を招いて体操教室を行いました。飛ぶ等の簡単な動きからルールのある遊び、運動用具を使って運動する楽しさを存分に味わいました。その楽しい経験から、子どもたちは日々の遊びの中でも自ら体を動かし、意欲的に取り組んだり挑戦したりと体を動かす喜びを感じられるようになりました。



〈おもしろ不思議理科実験〉

地域の教育力を生かし、地域の『平城NT楽しい理科実験研究会』の方々に来ていただき、スモークマシンと段ボールを使ってドーナツ雲を作りました。段ボールのたたき速さや押し方によって形が変化することに「どうして？なぜ？」と科学の不思議さや驚きを感じ心揺さぶる感動体験となりました。

〈ABCで遊ぼう〉

英語に親しむというねらいを持ち、時期に応じたいろいろな言葉の発音図形、リズム遊び、絵本の読み聞かせなど体を動かしながら英語に触れることができ、意欲的に参加する姿が多く見られました。講師の方や友達と一緒に活動する楽しさを十分に感じることができました。



今年度のまとめ

ゲストティーチャーを招いての事業では、遊びの中から楽しく自然に専門的な知識を身に付けることが出来ました。また、環境ボランティアさんや地域の方との触れ合い、お話の会、高齢者の方との交流では、子どもたちの心が豊かになり、優しい心、思いやりの心、感動する心が育まれました。地域の方から「子どもたちの笑顔や言葉に元気をもらいました」という嬉しい声をいただき、地域とのつながりを感じました。

来年度に向けて

今年度の事業をさらに充実し、自信を持ち何事にも挑戦する園児を目指して、来年度も園・地域・保護者が一体となって互いに協力し合い、連携を密にして継続して事業を進めていきたいと思えます。さらに各取組で学んだことや感動が日々の子どもたちの遊びにつながっていくよう工夫していきたいと考えます。

めざす子ども像 自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**取組目標** 子どもたちが地域を知り、地域の人達との繋がりを意識すると共に、豊かな感性や様々な知識・技術を身につけて成長していける取り組みの充実を目指す

今年度の取組紹介

◆お話の会

地域の読み聞かせのボランティアの皆さんにより、継続して行っている「お話の会」では、毎月実施したことで、期待を持ちながら落ち着いてお話を聞く態度が身についてきています。また、絵本コーナーにその日に読んで頂いた絵本を掲示することで、より興味を持って絵本を手にとる姿が増えてきています。また、絵本貸し出しを楽しみにする子どもも増え、お話が好きな子どもに育ってきていることが感じられます。

◆おもしろ理科実験



地域の「平城 NT 楽しい理科実験研究会」の方々に来園していただき、今年度も「おもしろ理科実験教室」を実施しました。空気の流れにボールを浮かせたりキャッチしたり、牛乳パックを使った跳ねるおもちゃを作って遊んだりし、身近なもの使った体験に改めて科学の不思議さやおもしろさに触れることができる貴重な体験となりました。

◆左京の森での芋ほり体験

今年度も左京グリーンサポートの皆さんのお力をお借りし、さつま芋のつる植えから収穫までの貴重な体験をさせていただくことができました。

共に活動してくださり常に見守りお世話してくださることに親しみを感じると共に感謝の気持ちを持つことができました。



今年度のまとめ

- 計画的に継続して地域の方々と関わる機会をもってきたことで、地域の方々への親しみが増し子ども達からは、「楽しかった」「また、やってみたい」の声も聞かれ、交流の場に期待しながら参加し、次回を楽しみにする姿へとつながってきています。
- 地域の方々との心を動かす様々な体験の中で、温かい雰囲気や眼差し、言葉がけ等の優しさに触れ、人とかかわる心地よさや感謝の気持ちを持つことができました。

来年度に向けて

- 継続して地域の方々とかわることで、園児の経験や体験を広げることができ、親しみも深まっていくので、来年度も継続して事業を進めていきたいと考えています。
- 地域の教育力を最大限に活かせるように情報収集に努め、無理のないよう保育に取り入れながら、園児の豊かな経験につながるようにし、地域に根差したこども園を目指していきたいと思ひます。